



平成28年 4月14日

各 位

会社名 ダイダン株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 北野 晶平
(コード番号：1980 東証第一部)
問合せ先 取締役常務執行役員業務本部長 池田 隆之
TEL 06 (6447) 8000

「中期経営計画」の策定について

当社は、平成28年度から平成30年度までの3カ年を対象とする中期経営計画「お客様に必要な環境を創造し提供するダイダン～Always With You.～」を策定しましたのでお知らせいたします。

ダイダンが目指すのは、お客様の事業活動に必要な環境を構築するパートナーであることです。

お客様が必要としている環境は、お客様ごとに異なります。病院には病院の、工場には工場の、オフィスにはオフィスの、それぞれ求められる最適な環境があります。

当社は、これまで培ってきた最先端の空間制御技術でお客様に最適な環境を提供することで、経営理念に掲げるより良い地球環境の実現と社会の発展に貢献できるものと考えています。

ダイダンは、平成35年に創業120周年を迎えます。現在の建設業界は堅調な企業業績を背景に底堅く推移していますが、不安定な世界の政治経済の情勢に対する懸念もあり、特に東京オリンピック以降の日本の経済情勢は不透明となっています。そのような中で持続的に成長するためには、経営基盤の強化と事業領域の拡大が重要な課題です。

今回策定した3カ年の中期経営計画は、7年後の創業120周年を見据えた長期ビジョンを実現するための基盤強化、変革に向けた第1ステップとして位置付けました。その上で、ダイダンのあるべき姿を以下の4つにまとめ、それぞれにキーワードを設定して、戦略・施策を作成しています。

- I. 【基盤技術】お客様の環境構築パートナー
- II. 【事業創出】光と空気と水の技術を生かした事業領域の創出
- III. 【経営基盤】市場変化に対応できる経営基盤の確立
- IV. 【企業責任】社会的要求に応える企業

当社は、今回策定した中期経営計画の達成に向けて総力を挙げてまいりますので、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上

中期経営計画

2016年4月～2019年3月

お客様に必要な環境を創造し提供するダイダン
～Always With You.～

1. 経営理念

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。

2. 経営方針

- ①顧客第一の理念を通じて経営環境の変化に対応する。
- ②コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う。
- ③安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う。
- ④各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する。

3. 創業120周年を見据えた3カ年計画のビジョン

- I. お客様の環境構築パートナー
- II. 光と空気と水の技術を生かした事業領域の創出
- III. 市場変化に対応できる強固な経営基盤の確立
- IV. 社会的要求に応える企業

4. 収益目標と目標とする経営指標

本中期経営計画の最終年度（平成30年度－第90期）の収益目標

	連結	個別
受注工事高	1,510億円	1,500億円
完成工事高	1,510億円	1,500億円
営業利益	75億円	75億円

目標とする経営指標は以下のとおりとする。

営業利益率＝5%

5. 戦略および施策

【基盤技術】

I. お客様の環境構築パートナー

お客様の事業活動に必要な環境を構築するパートナーを目指す。

戦略1 高度設備技術が必要な施設に対するエンジニアリング力強化

- (1) 建築設備からのZEB、スマートエネルギー提案の発信
- (2) 高度設備技術（バイオ、デバイス）の基盤技術化
- (3) 特殊設備への対応力強化
- (4) 開発技術グループの設置

戦略2 環境ユーザーへのアプローチ

- (1) セールスエンジニアの育成
- (2) 次世代の収益基盤となる分野の開拓
- (3) 独自システムの販売

戦略3 協力会社とともに発展する体制構築

- (1) 協力会社ネットワークの活用
- (2) 協力会社と一体となった施工効率化策の検討
- (3) 協力会社の人材確保への支援
- (4) 協力会社との連携によるBCPへの対応力強化

【事業創出】

II. 光と空気と水の技術を生かした事業領域の創出

多様化するお客様の環境へのニーズに対応するため、当社の技術を生かした事業領域を創出する。

戦略1 総合設備工事業の特徴を生かした事業創出

- (1) 総合設備工事業の要素技術を生かした異業種連携による新規事業創出
- (2) 成長が見込める分野との資本提携やM&Aの検討
- (3) チャレンジする風土の育成

【経営基盤】

III. 市場変化に対応できる経営基盤の確立

景気の変動に左右されにくい経営基盤を確立する。

戦略1 社会情勢や市場の変化に対応した組織運営

- (1) 戦略的な新規案件（全国案件）の受注
- (2) 市場規模を見据えた組織（目標設定・技術者配置）運営
- (3) 地域の特性を踏まえた受注施策

戦略2 資本・財務基盤の強化

- (1) 資本政策によるステークホルダーとの関係構築
- (2) 強固な財務基盤を活用した投資の検討

戦略3 現場力の強化

- (1) 原価低減への取り組み強化
- (2) 事故根絶への取り組み強化
- (3) 現場支援体制の確立
- (4) I T活用による現場業務効率化
- (5) 設計・施工・保守・リニューアルのサイクルの確立

戦略4 働き方の多様化への対応

- (1) 女性が活躍できる環境整備の推進
- (2) 優秀な人材の確保と教育システムの再構築
- (3) 定年制度の見直し、再雇用者の契約条件改正の検討

【企業責任】

IV. 社会的要求に応える企業

コンプライアンスを徹底し、企業市民として社会的要求に応える企業として存続する。

戦略1 コンプライアンス経営の継続的推進とガバナンス強化

- (1) 公正で適正な取引を徹底するためのガバナンス強化と教育の継続

戦略2 企業市民としての社会貢献活動の推進

- (1) 全社的な社会貢献活動の推進
- (2) 建築設備業の発展に寄与するための社外活動の推進

この開示における将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の業績と異なったり、予告なしに変更する可能性があります。

(2023年)
創業120周年を見据えた3カ年計画のビジョン

お客様に必要な環境を創造し提供するダイダン

～Always With You.～

[経営理念]

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する

[経営方針]

- ① 顧客第一の理念を通じて経営環境の変化に対応する
- ② コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う
- ③ 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う
- ④ 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する

[収益目標]

	2019年3月期(第90期)	
	連結	個別
受注工事高	1,510億円	1,500億円
完成工事高	1,510億円	1,500億円
営業利益	75億円	75億円

[経営指標] 営業利益率: 5%

基盤技術

お客様の
環境構築パートナー

お客様の事業活動に
必要な環境を構築する
パートナーを目指す

戦略1 高度設備技術が必要な施設に 対するエンジニアリング力強化

- (1) 建築設備からのZEB、スマートエネルギーの発信
- (2) 高度設備技術(バイオ、デバイス)の基盤技術化
- (3) 特殊設備への対応力強化
- (4) 開発技術グループの設置

戦略2 環境ユーザーへのアプローチ

- (1) セールスエンジニアの育成
- (2) 次世代の収益基盤となる分野の開拓
- (3) 独自システムの販売

戦略3 協力会社とともに発展する 体制構築

- (1) 協力会社ネットワークの活用
- (2) 協力会社と一体となった施工効率化策の検討
- (3) 協力会社の人材確保への支援
- (4) 協力会社との連携によるBCPへの対応力強化

事業創出

光と空気と水の技術を
生かした事業領域の創出

多様化するお客様の
環境へのニーズに
対応するため、
当社の技術を生かした
事業領域を創出する

戦略1 総合設備工事業の特徴を 生かした事業創出

- (1) 総合設備工事業の要素技術を生かした
異業種連携による新規事業創出
- (2) 成長が見込める分野との資本提携やM&Aの検討
- (3) チャレンジする風土の育成



経営基盤

市場変化に対応できる
経営基盤の確立

景気の変動に
左右されにくい
経営基盤を確立する

戦略1 社会情勢や市場の変化に 対応した組織運営

- (1) 戦略的な新規案件(全国案件)の受注
- (2) 市場規模を見据えた組織(目標設定・技術者配置)
運営
- (3) 地域の特性を踏まえた受注施策

戦略2 資本・財務基盤の強化

- (1) 資本政策によるステークホルダーとの関係構築
- (2) 強固な財務基盤を活用した投資の検討

戦略3 現場力の強化

- (1) 原価低減への取り組み強化
- (2) 事故根絶への取り組み強化
- (3) 現場支援体制の確立
- (4) IT活用による現場業務効率化
- (5) 設計・施工・保守・リニューアルのサイクルの確立

戦略4 働き方の多様化への対応

- (1) 女性が活躍できる環境整備の推進
- (2) 優秀な人材の確保と教育システムの再構築
- (3) 定年制度の見直し、再雇用者の契約条件改正の検討

企業責任

社会的要求に
応える企業

コンプライアンスを
徹底し、
企業市民として
社会的要求に応える
企業として存続する

戦略1 コンプライアンス経営の 継続的推進とガバナンス強化

- (1) 公正で適正な取引を徹底するためのガバナンス
強化と教育の継続

戦略2 企業市民としての 社会貢献活動の推進

- (1) 全社的な社会貢献活動の推進
- (2) 建築設備業の発展に寄与するための社外活動の
推進